

豊田市PCB処理 安全監視委員会だより

平成 18 年 8 月
第 9 号

豊田市では、日本環境安全事業㈱が行う豊田 PCB 廃棄物処理事業における安全性、環境保全の確保のために、「豊田市 PCB 処理安全監視委員会」を設置し、安全・確実に運搬・処理されることを監視しています。

委員会の活動内容は、この「委員会だより」や市のホームページなどで公開しています。

平成 18 年度第 1 回豊田市 PCB 処理安全監視委員会について

平成 18 年 6 月 22 日(木)午後 2 時から日本環境安全事業㈱豊田事業所において、平成 18 年度第 1 回豊田市 PCB 処理安全監視委員会を開催しました。

委員会には安全監視委員 7 名のほか、環境省産業廃棄物課、オブザーバーとして愛知県環境部資源循環推進課と豊田市消防本部、処理事業者の日本環境安全事業㈱が出席しました。また 7 名の方が委員会を傍聴されました。

下記の議事の他に事故防止対策の現地確認を実施しました。



【議事内容(要旨)】

(1) PCB 漏洩事故後から現在までの市の対応について

平成 17 年 11 月 21 日に発生した PCB 漏洩事故に関して、市が実施した処理施設への立入調査の状況、日本環境安全事業㈱への指導や環境調査結果等について、市から報告がありました。大気等の環境調査結果については国実施の全国調査と比較しても問題となる値ではありませんでした。

(2) PCB 漏洩事故の原因と対策(最終報告)について

PCB 漏洩事故の再発防止対策、処理施設の総点検の状況や安全管理記録レビューの結果などについての報告が、日本環境安全事業㈱からありました。

【PCB 漏洩事故の原因と対策（最終報告）の概要】

PCB 漏洩事故発生後、日本環境安全事業(株)では「事故対策委員会」を設置し、事故の原因究明や再発防止対策を検討しました。

この事故対策委員会における検討結果に基づき、再発防止対策、処理施設の総点検を実施しました。また、試運転を実施し、施設の安全性・健全性を確認しました。

（再発防止対策）

塔底ポンプ等の改造

- ・ 脱落した圧力計の取付部を改善するとともに、塔底ポンプ 1 基でリボイラ循環機能と液処理への送液機能 2 つを行っていたものを負荷（振動）を低減させるためにそれぞれの機能に特化させたポンプの 2 基設置に変更しました。

PCB 蒸気漏洩に係わる対策

- ・ 万一の事故に備えて第 6 系統排気も活性炭処理を実施し、PCB 廃棄物取扱区域の排気をすべて処理できるようになりました。

（ヒューマンエラー防止策）

- ・ 管理体制を強化するための運転会社を新規に設立及び監督員の増員を行いました。
- ・ 指示、連絡の改善は、文書化による共通認識をするようにしました。

（試運転の結果）

試運転を通して、施設の安全性及び健全性をさらに向上させるための改善項目についても対策を講じました。その改善箇所は継続的確認を実施し、安全性・健全性をさらに向上させていきます。

【委員の主な質問と回答】

質問

第 3 系統排気とはどのような装置の排ガスが発生するのか。

<回答>（日本環境安全事業株式会社）

真空加熱分離装置であり、PCB が付着した部材等から真空に引きながら PCB を取り出し、オイルスクラバにて PCB を液体として回収し、液処理に持っていく装置。

質問

事故後に市民等からの苦情や反対運動等はなかったか。

<回答>（事務局）

地元説明や電話等では「大丈夫か」、「心配である」等の意見はあるが、反対運動というような形のものはない。

意見・要望 意見を取りまとめて市へ提出（次項参照）

- ・ 日本環境安全事業(株)実施の検討会等に引き続き参加し、技術的な情報等を収集し、市民にわかりやすい形で伝えて欲しい。
- ・ 豊田事業所だよりを引き続き発行し、適宜情報を伝えて欲しい。

委員会から市への意見書の提出について

今回の安全監視委員会の意見をまとめて、下記のとおり意見書を市に提出しました。

- ・ 定期的な情報提供でも市民全体への周知には難しい部分もあるが、今後も引き続き市民への情報提供に努めること。
- ・ ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会等の専門的な情報は理解が困難であるが、市で積極的に情報収集し、わかり易い形で市民への情報提供に努めること。
- ・ PCB 処理施設の運転には複数の会社関わっているため、ヒューマンエラー防止の観点から相互の信頼関係、協力関係の形成が重要である。良好な信頼関係を形成するための体制の見直しを着実に実行すること。
- ・ 事故の影響による施設の停止で、PCB の処理を委託しようとしていた PCB 保管事業者との信頼関係を損ねたおそれがあるため、信頼関係の修復に努めること。
- ・ 総点検で抽出された不具合項目を「点検ミス」、「基準の強化」、「想定外」のような分類別に整理し、今後の不具合の未然防止に活用すること。
- ・ 事故は初歩的などころで起きた。PCB 処理事業に携わる者は、国家プロジェクトであることを再認識し、責任体制を明確にし、緊張感を持って処理を進めること。

豊田 PCB 廃棄物処理施設の運転再開について

平成 18 年 6 月 15 日に日本環境安全事業(株)から万全な体制で安全な運転・管理を実施していくので運転を再開したいとの申請が市にありました。市は、事故対策の報告書や立入調査等により、事故対策が着実に実施され、事故防止に繋がる安全性が格段に向上していることが確認されたとして、平成 18 年 7 月 18 日に下記の条件を付して、運転再開の承認をしました。

【運転再開の条件】

- ・ 社内の管理責任体制を強化し、運転会社等と信頼・協力関係を密にしてヒューマンエラーの防止に努めること。
- ・ 今回の事故対策及び総点検で抽出された不具合項目等について整理し、今後の不具合等の未然防止に努めること。
- ・ 貴社各事業所間の情報の共有化、改善策の横展開に努めること。
- ・ 監督官庁である環境省との連絡を密にし、積極的に必要な指導を受けること。
- ・ 地元関係者等への情報提供を引き続き積極的に行い、信頼関係の回復に努めること。

市の承認を受け日本環境安全事業(株)は平成 18 年 7 月 19 日から運転を再開しました。

安全監視委員会は、施設が安全・確実に稼働されることを引き続き監視するとともに、必要に応じて市や日本環境安全事業(株)等に対して意見を述べていきます。

【豊田市 PCB 処理安全監視委員会委員】 (:委員長 :副委員長)

周辺自治区の代表

	森川 直喜	朝日丘コミュニティ
	江坂 俊彦	逢妻コミュニティ
	兵藤 勝利	竜神コミュニティ
	太田 忠良	竜神コミュニティ
	都築 益夫	若林コミュニティ
	寺田 敏	若園コミュニティ

公募市民

	浅野 智恵美	環境カウンセラー
	伊藤 圭一	会社員
	三浦 聖子	看護師

周辺企業代表

	金子 孝博	大豊工業株式会社
--	-------	----------

学識経験者

	岡本 勝司	豊田加茂医師会
	藤江 幸一	豊橋技術科学大学工学部教授
	松田 仁樹	名古屋大学大学院工学研究科教授

【豊田 PCB 廃棄物処理事業に関するお問合せ】

日本環境安全事業株式会社

豊田事業所

豊田市細谷町 3 丁目 1 番地 1

TEL : 0565 - 25 - 3110

FAX : 0565 - 24 - 0543

処理施設は見学ができます。
上記の連絡先でご予約ください。

日本環境安全事業株式会社

東京都港区芝 1 - 7 - 17

住友不動産芝ビル 3 号館 4 階

TEL : 03 - 5251 - 1017

FAX : 03 - 3592 - 5606

<http://www.jesconet.co.jp>



安全監視委員会は傍聴ができます。詳しくは広報とよた等でお知らせします。
安全監視委員会にて配布された資料は、市ホームページまたは日本環境安全事業(株)ホームページにて公開されています。

【連絡先】

豊田市 PCB 処理安全監視委員会事務局

豊田市環境部環境保全課

TEL : 0565-34-6628

FAX : 0565-34-6684

E-mail : k_hozen@city.toyota.aichi.jp

<http://www.city.toyota.aichi.jp/division/ae03.htm>

